



令和2年度ひたちなか市立佐野小学校グランドデザイン

《いばらき教育プラン》
一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもの自主性・自立性を育もう～

《校訓》
・心豊かに ・よく学び
・たくましく ・よくはたらき

《ひたちなか市のめざす子ども像》
知性と豊かな人間性を備えた
心身ともにたくましい子ども

《学校教育目標》 学ぶ意欲に満ち 心豊かで たくましく生きる児童の育成

魅力ある学校づくり

夢

感動

笑顔

〔児童〕
◇行く価値のある学校
◇学ぶ価値のある学校

〔教師〕
◇楽しく勤務できる学校
◇力量アップできる学校

〔保護者〕
◇信頼できる学校
◇開かれた学校

〔地域の方〕
◇地域とともにある学校
◇関わりたい学校

【学校評価】

- ・学校は楽しい（児童対象：6問）
- ・友達と仲良く協力し助け合って生活できた
- ・考えを深めたり広めたりすることができた
- ・お子様はいじめや嫌がらせはないと言っている
- ・学校は教育活動や子どもの様子を分かりやすく伝えている（保護者対象：4問）

【魅力評価】“主体的に授業に取り組んでいる”

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1年	69→82→71	72→63→76	→ →
2年	66→63→63	65→51→70	→ →
3年	44→60→58	59→56→62	→ →
4年	44→56→59	55→40→55	→ →
5年	47→48→52	38→32→44	→ →
6年	48→51→50	49→50→42	→ →

【教員評価】“魅力ある教師”をめざして → 自己変革を怠らない教師

→ 魅力ある授業は教材研究だけではない。教え導く者の人間性が魅力を引き出すのだ

組織目標：子ども達の笑顔を増やす

グループ目標：学習指導『協働的な学び』で、「わかる」「できる」の笑顔 → 研修の日常化

：学級経営等『居場所づくり（教師）』『絆づくり（児童）』で笑顔 → Q U活用

：学校運営『感動体験』で笑顔 → 校務分掌を通して体験創出

知《協働して学ぶ》

- ☆基礎基本を確実に定着する学び
- ・学習規律の確立 ・内容の習得
- ☆問題解決(探究)型の学び
- ・自力 → 協働 → 一斉検証
- ・見通しをもつ(書く)
- ☆対話的な学び
- ・人：話す、聞く、話し合う
- ・事象：教材との出会い(対話)
- ↓↑
- “本物”に触れる教育を
- ☆既習事項を活用した学び
- ☆まとめと振り返り
- ・“わがとも”

徳《他者と共によりよく生きるための基盤づくり》

- ☆重点項目(希望, 勇気, 努力, 強い意志)を意識した取り組み
- ・道徳的実践活動(特活・日常生活)
- ・交流連携(小中・家庭・地域)
- ☆温かな支持的風土に満ちた学級
- ・自由, 安心安全, 認め合い, 高め合い
- ・居場所づくり(教師)と絆づくり(児童)
- ☆道徳科：35(34)時間/年
- ・物事を多面的・多角的に考える
- ・自分の生き方の考えを広げる, 深める
- ☆感動体験の創出

体《心身ともにたくましく》

- ☆額に汗する体育科授業
- ・運動量の確保 ・多様な運動経験
- ☆運動を科学する“目”
- ・問題解決型 → タブレット活用
- ☆自己管理能力の育成
- ・早寝, 早起き, 朝ご飯
- ・3安全(生活・交通・防災)
- ☆基本的な生活習慣の確立

資《信頼, 安心に応える》

- ☆コンプライアンス
- ・3ない運動+2
- ☆危機管理(リスク・クイック・レスポンス)
- ・真の危機は日常のかかわりにあり
- ・教職員, 児童, 学校施設の破損, 盗難, 学校保健安全関係, 自然災害の事故
- ☆指導力の向上
- ・授業力 ・学級経営 ・道徳科
- ・生徒指導(いじめ, 児童理解等)
- ・特別支援教育
- ・学校評価(PDCAサイクル)
- ☆ガバナンス

地域・保護者《積極的な連携, ふるさと教育》

- ☆地域
 - ・佐野ミヅとの連携 → 市民運動会, 佐野の和夏祭り, ミヅ祭, 敬老会
 - ・勝田特別支援学校との交流 ・わくわくスクール等で情報学院の協力
 - ・笠松競技場を活用(特久走, スケート)が光'ック・パ'リ光'ック教育の推進
 - ・近代美術館の出前鑑賞“ハローミュージアム”
 - ・佐野幼稚園との連携 → スタート・カリキュラム
 - ・子ども会, 自治会, 民生委員・主任児童委員との連携
- ☆保護者
 - ・スクールラティフ → 環境整備, 校外学習引率, 読み聞かせ, 図書ボランティア
 - ・佐来楽くんと約束10か条 ・マモルン(自転車ヘルメット)



